

## 令和3年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

団体等名	松本をもっとよくしようプロジェクト	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学人文学部人文学科2年
	ふりがな 氏名	やまうち ゆうた 山内 裕太
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	信州大学教職支援センター准教授 あらい えいじろう 荒井 英治郎

活動名	地域と若者をつなぐ「学割パスポート」の普及と商品開発
実施時期	2021年3月～2022年2月
実施場所	松本市役所・信州スカイパーク
活動内容	<p>松本をもっとよくしようプロジェクト(以下、「まつもっと」)は、2020年3月1日より松本市内の協賛店において全国の学生が学生証を提示するだけで特典を受けられるサービス、「学割でおトクにかえるパスポート」通称「学割カエルパ!」事業を開始した。これは、若者を地域ぐるみで応援するサービスであり、松本をもっと好きになってもらいたいという想いや、松本へ来てよかったと思ってもらうことを企図している。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大学から課外活動の禁止が度々求められたこともあり、満足な活動を実施することができない状況が長期間続いた。そのため、当初計画していた商品開発に関しては、新型コロナウイルス感染症の流行の終息の目途が立たず、現状において商品開発を進めようとしても、大学生の課外活動が禁止になることで、商品開発の計画に遅れを生じさせ、ご協力いただく企業に対してご迷惑をおかけすることになるということから今年度の商品開発は見送る判断をした。</p> <p>しかし、そのような状況下において、2021年3月19日から5月31日まで松本市役所において『「まつもっと」の軌跡』の展示を実施した。本展示により、「まつもっと」のこれまでの活動を松本市役所への来庁者に宣伝するとともに、「学割カエルパ!」の協賛店からショップカードなどを募って配布し、「学割カエルパ!」のPRを行った。</p> <p>また、8月31日に吉川地域づくりセンター、村井商工親和会、芳川いきいきプロジェクト「まつもっと」で村井駅前通りの活性化案に関しての意見交換及び「まつもっと」・「学割カエルパ!」の紹介を行った。(オンライン参加)</p> <p>11月21日には、サンプロアルウィンで開催された松本山雅 FC のホームゲームに合わせ、信州スカイパークにて松本市主体のブースが開かれ、地域づくり課のブースにおいて、3月下旬から松本市役所で行った『「まつもっと」の軌跡』の展示を規模を縮小して展示するとともに、松本市や「学割カエルパ!」に関するクイズと「学割カエルパ!」協賛店の一覧が書かれたチラシを配布し、クイズの正解者には先着で「学割カエルパ!」のマスコットキャラクターである「カエルパ」が描かれたトートバッグを配布することで「学割カエルパ!」のPRを図った。</p> <p>さらに、今年度は、2020年3月に作成した信州大学周辺エリアと松本城周辺エリアを中心とした、若者向けの飲食店を掲載するガイドブックである「食べ歩きガイドブック」の最新版を作成している。最新版は、信州大学と松本城周辺の「学割カエルパ!」協賛店を掲載したもので、2022年3月中に完成させ、完成後は松本市役所や松本駅、「食べ歩きガイドブック」掲載店舗にて配布する予定である。また、これに伴い、SNSによる協賛店の紹介を3月より実施し、最新版「食べ歩きガイドブック」の完成と「学割カエルパ!」のPRを行う。</p>

活動の成果  
と今後の課題

「『まつもつと』の軌跡」と題した展示や松本山雅のホームゲームでの「学割カエルパ!」の PR 活動により、松本市内外に住む若者や家族に対して「学割カエルパ!」の認知度を高めることができたと考えている。実際に「食べ歩きガイドブック」の作成に伴うアンケート調査を信州大学の生徒を対象に行い、その結果から「学割カエルパ!」を知っている学生が約 75%にも及ぶことが分かり、信州大学の学生内において浸透していることを確認した。これは、昨年度より「まつもつと」が実施してきた「学割カエルパ!」の PR 活動の成果であると考えられる。協賛店の店舗数も 100 店舗にも及び、松本市内における市民の方々・お店の方々の認知が高まり、今後は更なる協賛店の拡大が見込まれる。

しかし、アンケートの結果から実際に使用したことがある学生が 17%にとどまっていることが判明した。これは、利用方法が良く分からないことや、協賛店においてどのような特典が受けられるのかという詳細が上手く伝わっていないことが原因にあると考えられる。この結果を受け、「まつもつと」では学生と直接接し、実際に学割を利用する機会を設けるイベントを春休み期間中行うこと計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大による課外活動の禁止を受けて中止することになったが、来年度以降は、今後の課題である利用の促進に焦点を当てて広報活動を行い、この広報活動によって学生と接触できる機会を増やし、直接的に訴えていくことによって「学割カエルパ!」の存在がより身近になるようにしていく。

また、昨年度より「学割カエルパ!」の広報活動を重点的に行ってきた「まつもつと」だが、「学割カエルパ!」の協賛店や松本市の魅力などを十分に発信することができなかったという課題もある。来年度以降からは、「学割カエルパ!」の広報活動だけではなく、信州大学の他のサークルや学生団体や市民団体、松本市と協力して、これまで以上に幅広い活動を行うことにより、「まつもつと」や「学割カエルパ!」の認知を高めつつ、これまでと違った方法によって松本市のさらなる発展・活性化に貢献していきたい。

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4 判 4 枚以内にまとめてください。活動内容だけでなく、活動団体の PR を行うことができる動画を添付することも可能です。

※提出された活動報告書一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州の HP への掲載を予定しています。他人が写った写真等を許可なく使用しないなど、著作権や肖像権に配慮してください。

【参考資料 1】配布物の詳細

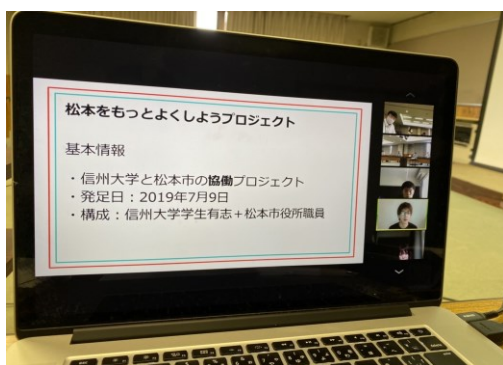


【参考資料 2】活動写真

1. 『まつもっと』の軌跡』の展示



2. 村井駅前通りの活性化に関する意見交換会



3. サンプルアルウィン

